

えんど久子市議の提案で 商店街で市の取組みひろがる



中心市街地の商店街。商店街の中で子育て支援の取り組みなど、にぎわい作りのための市の取組みが始まっています。

近鉄跡地計画は方向転換を

えんど久子市議は、市街地活性化について毎回質問していますが、12月議会一般質問でも、市民アンケートに寄せられた声を紹介しながら質問しました。

まず、近鉄跡地マンション計画について質問。商工課長は「民間事業者から『1期工事は市の支援を求めない。諸条件が整えば年明けにも着工したい』と聞いている」と答弁。えんど久子市議は、「これまでも何月ごろ着工したいと言っている」と何度も答弁があつたが、経過から考えても難しいと思う。方向転換が必要」と述べました。えんど市議はくり返し「市がマンション計画に支援すべきでない。市長が決断を」と主張してきました。

市の各課が活性化に努力を

また、「日本共産党市議団の市民アンケートにも、『近鉄の場所は早く別府の顔にしてほしい』『宿泊施設に土産品を置くだけでなく、宿泊は宿泊だけにし、いろいろな店を歩いて体験できるように』

また、「日本共産党市議団の市民アンケートにも、『近鉄の場所は早く別府の顔にしてほしい』『宿泊施設に土産品を置くだけでなく、宿泊は宿泊だけにし、いろいろな店を歩いて体験できるように』

ストレッチ教室などを実施

環境課長は「銀座街のプラットホーム1で『布ぞうり体験講座』などリサイクル体験講座を定期的に実施したい」と答弁。また、スポーツ健康課長は「『ゆったりストレッチ教室』を銀座街プラットホーム1で12月から3月までの毎月実施する」と答弁しました。

さらに、えんど市議は「『フリーマーケット』にたくさんの方が集まっていたが、商店街でフリーマーケットをしては」という声もある。別府のおみやげザボンを、お菓子などに活用したおみやげ品ができないか」などの提案もしました。

えんど久子のホームページ「はっぴーえんどどっとねっと」をぜひご覧下さい。「えんど久子」で検索すれば見られます。

日本共産党 別府市議団
げんきニュース

TEL・FAX 平野文活21-6749・野田紀子22-9253・えんど久子25-7630
<http://www.ctb.ne.jp/~jcpbesig/>

発行責任者 平野文活
別府市石垣西8-2-31
TEL0977-22-6576

No.452
2010.12.22

えんど久子市議が指摘

市長の見通しが甘かった

「できない責任はイズミに」と市長

12月市議会一般質問で、他の議員からの質問に答え、浜田市長は次の市長選挙に立候補表明をし、イズミの2期計画シネコンや歩道橋ができていないことについて、「イズミに抗議状を渡した」「イズミはまだやり

たいと言っている」「できない責任はイズミ側にある」「責任転嫁しているわけではない」「私は『俺について来い』というタイプの政治家ではない」などと答弁しています。

活性化できていないことは明らか

えんど市議はこれらの市長答弁を受け、「市長は『ゆめタウンで回遊性をはかり活性化できる』と言ってきたが、活性化できていないことは現状を見れば明らかだ。市長の見通しが甘かった。抗議状を出してもシネコンや歩道橋ができるわけではない。できることでイ

ズミに地域貢献してもらわなければならない」と指摘しました。浜田市長はうなずきながら聞いていました。



「地域経済立て直す」と市長答弁

商工課長は「商店街の中にトイレを作る、アンテナショップを開くなどイズミの貢献策としてすすめる」と答弁。

浜田市長は「現状は厳しい状況下にあるが、地域経済を立て直す政策を進めていく」などと答弁しました。



別府タワーと北浜

別府市議会のホームページで市議会の映像が見られます。ご覧ください。